

実施状況確認チェックシートの解説 (案)

＜共同活動の実施状況の確認＞

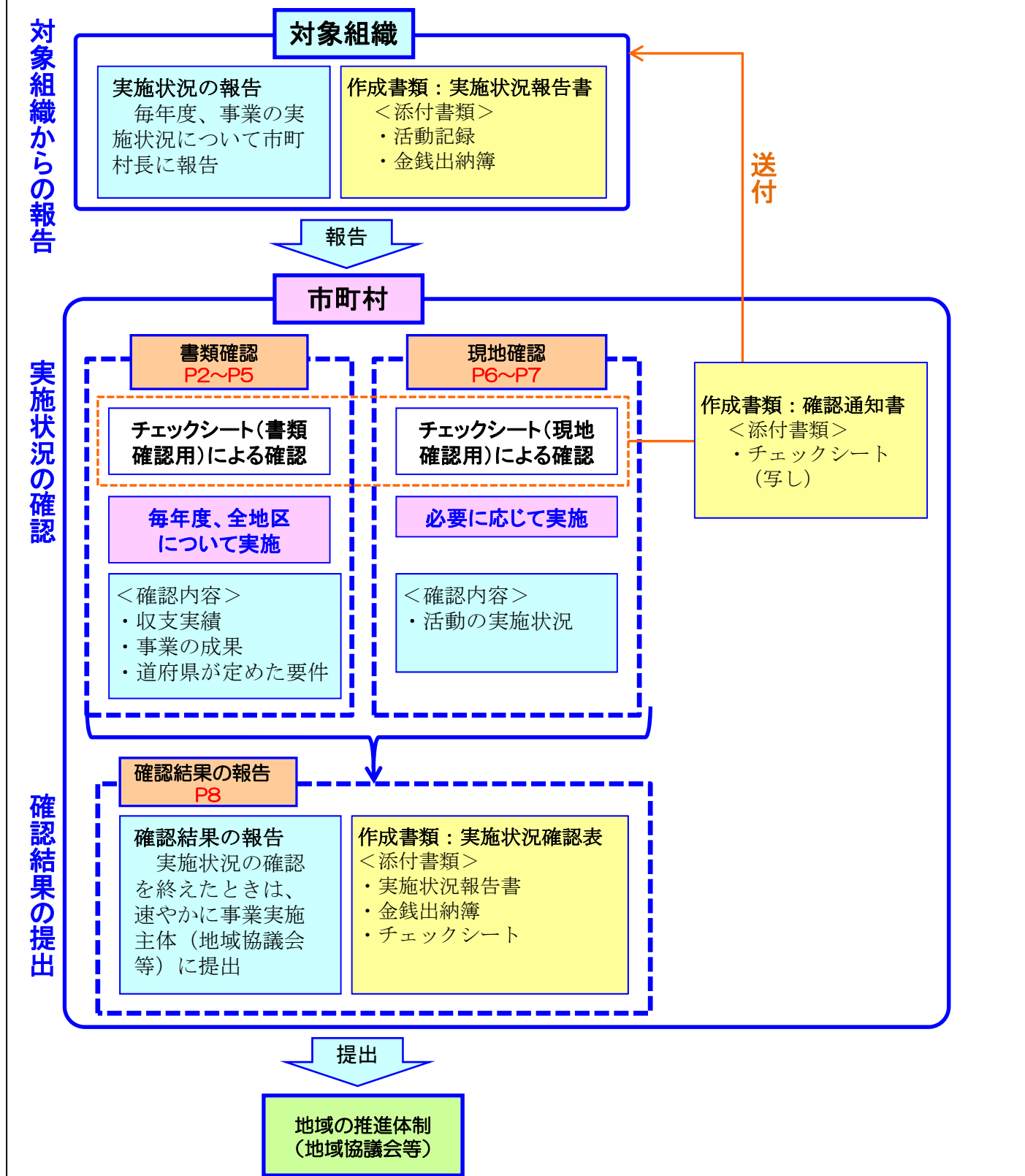
＜本解説の位置付け＞

本解説は、農地・水保全管理支払交付金の実施要領(別記3-1)に示されている「市町村が行う対象組織の共同活動及び向上活動の実施状況の確認について」の事務処理方法等について、実際に使用する書類の様式等を参照しながら、その手順とチェックポイントを市町村担当者にお示しするものです。

I. 市町村における実施状況の確認の流れ

市町村は、協定に定められた事項の実施状況について、対象組織から提出された書類の確認及び現地確認により確認を行います。確認結果について、地域の推進体制へ提出します。

実施状況の確認フロー図



II. 実施状況の確認方法

1. 書類確認について

1-1. 書類確認の対象地区

書類確認は、毎年、全地区を対象として実施します。

1-2. 書類確認の方法

市町村は、実施状況確認チェックシート(別記3-1様式第2号)に基づき、確認を行います。確認を行う際の具体的な方法について、該当するページをご覧ください。

(別記3-1様式第2号) 共同活動支援 実施状況確認チェックシート(書類確認用)		
確認年月日: 平成 年 月 日		
活動組織名	確認者 (所属、氏名)	
1. 活動の実施状況の確認		
事項	確認項目とその内容	チェック欄
※(1) P3参照 収支実績	①収入の部 (確認内容) 実施状況報告書の「収入の部」と金銭出納簿の「収入」欄の金額が一致していることを確認。	☐
	②支出の部 (確認内容) 実施状況報告書の「支出の部」と金銭出納簿の「支出」欄の金額が一致していることを確認。	☐
※(2) P4参照 事業の成果	③計画 (確認内容) 活動計画に位置づけた活動項目について、計画欄に「○」または「ー」が記入されていること確認。	☐
	④実施 (確認内容) 実施欄に「○」が記入されている場合 「実施日または未実施理由」欄に記入された実施日が活動記録と一致していることを確認。	☐
	(確認内容) 実施欄に「●」が記入されている場合 「実施日または未実施理由」欄に未実施理由が記入されていることを確認。	☐
	(確認内容) 「実施日または未実施理由」欄に遊休農地解消面積が記入されているを確認。 活動計画に位置付けた遊休農地面積が、協定期間内に計画に解消されていることを確認。	☐
都道府県が定めた要件	地域活動指針に基づき定める要件において、独自の要件が定められている場合 (確認内容) 独自の要件が達成されていることを活動記録により確認。	☐
(注) 「確認項目とその内容」に該当しない場合は、チェック欄に「該当なし」と記入。		
2. 活動の実施状況についての所見		
P5参照		

(1) 収支実績の確認方法: ①収入の部、②支出の部

実施状況報告書の「1. 平成〇年度収支実績」欄の①収入の部と②支出の部について、金銭出納簿に記入されている金額(収入支出)と一致しているか確認します。

(様式第1-9号)

平成〇〇年度 農地・水保全管理支払交付金(共同活動支援交付金)に係る実施状況報告書

(市町村長経由)
〇〇地域協議会
会長 〇〇 〇〇 殿

報告年月日	平成〇〇年〇月〇日	
名称	〇〇地区環境保全会	
代表者氏名	山田 太郎	印

平成〇〇年度の農地・水保全管理支払交付金(共同活動支援交付金)の実施状況について、報告します。

1. 平成〇〇年度収支実績 (平成〇〇年3月31日現在)

①収入の部

項 目	金額(円)
1. 前年度繰越	0
2. 共同活動支援交付金	1,777,160
3. 利子等	194
合 計	1,777,354

金銭出納簿の収入欄の計と同じ金額になっているか

②支出の部

項 目	金額(円)
1. 日当	200,000
2. 購入・リース費	1,100,000
3. 委託費	30,000
4. その他	400,000
5. 次年度繰越	47,354
合 計	1,777,354

金銭出納簿の支出欄の計と同じ金額になっているか。

支出の部「5 次年度繰越」の備考欄には、繰越額の使用予定(使用時期、使用内容)等を記入する。

平成〇〇年度 農地・水保全管理支払交付金 共同活動支援交付金 金銭出納簿											
組織名: 〇〇地区環境保全会											
日付	内 容	収入 (円)	支出(円)					残高 (円)	領収書 番号	活動 実施日	備考 (財産の保管場所)
			日当	購入・リース費	委託費	その他	計				
5月10日	共同活動支援交付金の受取	1,777,160						1,777,160			
5月15日	パソコンリース料			50,000			50,000	1,727,160	1		〇〇公民館
6月25日	砂利購入費			70,000			70,000	1,657,160	2	6月25日	
6月25日	日当 (1,000円×30人)		30,000				30,000	1,627,160	3	6月25日	
7月5日	事務用品代 (コピー用紙その他)					10,000	10,000	1,617,160	4		
7月15日	研修講師代				10,000		10,000	1,607,160	5	7月15日	
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	
9月30日	預金利息	194						874,754	—	—	
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	
3月31日	次年度繰越							47,354			
合 計		1,777,354	200,000	1,100,000	30,000	400,000	1,730,000				

(2)事業の成果:活動記録での確認

実施状況報告書の「2. 事業の成果」について、活動記録により、実施状況を確認します。

2. 事業の成果		活動項目	計画	実施	実施日または未実施理由
基礎活動	点検及び機能診断	農用地	○	○	4/15
		施設	○	○	4/15
	農用地	機能診断・補修技術等の研修	—	—	平成○年度実施予定
		①遊休農地発生防止のための安全管理 【遊休農用地解消面積】	○	○	8/20 0.3ha
		②畦畔・農用地法面・防風林等の草刈り	○	○	5/10、7/28、8/25
		③畦畔・農用地法面等の補修	○	○	4/25
		④施設の適正管理	○	○	4/25
		⑤異常気象時の対応	○	●	異常気象がなかったため本年度未実施
	水路	①水路の草刈り	○	○	5/10、7/28、8/25
		②水路の泥上げ	○	○	4/25
		③水路の適正管理	○	○	10/20
		④付帯施設の適正管理	○	○	10/20
		⑤異常気象時の対応	○	●	異常気象がなかったため本年度未実施
	農道	①路肩、法面の草刈り	○	○	5/10、7/28、8/25
		②側溝の泥上げ	○	○	4/25
		③農道の適正管理	○	○	10/20
		④付帯施設の適正管理	○	●	点検及び機能診断の結果、破損箇所等が確認されなかった
		⑤異常気象時の対応	○	●	異常気象がなかったため本年度未実施
	ため池	①ため池の草刈り	—	—	—
		②ため池の泥上げ	—	—	—
		③堤体の適正管理	—	—	—
		④付帯施設の適正管理	—	—	—
		⑤異常気象時の対応	—	—	—
農村環境保全活動	計画策定		○	○	5/15
	啓発・普及		○	○	7/25
	活動実践	農業用水の保全	—	—	—
		農地の保全	—	—	—
		地域環境の保全	○	○	6/10、7/25、10/10

(注)「実施日または未実施理由」欄には、取組の実施日または未実施となった理由を記入します。

「計画」欄
活動計画に位置づけた活動項目に「○」が記入されていることを確認。

「実施」欄
活動記録により活動が実施されていることを確認。

活動計画に位置付けた遊休農地が計画的に解消されていることを確認。

「実施日または未実施理由」欄
実施欄「○」
活動記録により活動実施日を確認。
実施欄「●」
未実施理由の記載を確認。

平成 年度 農地・水保全管理支払交付金 共同活動支援 活動記録

活動組織名: ○○地区農地・水・環境保全会

活動実施日時		協定参加団体名	活動参加人数			活動区分	活動内容			実施又は実施日	実施活動		備考
実施月日	実施時間		総参加人数	農業者	農業者以外		基礎活動	農村環境保全活動	農村環境保全活動		活動項目	実施状況	
4月10日	12時00分 ~ 14時00分	A農産	10人	5人	5人	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	水路	—	—	
4月12日	13時00分 ~ 16時30分	A農産	10人	5人	5人	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	農道	—	—	
4月14日	13時00分 ~ 16時30分	A農産	20人	10人	10人	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	—	—	—	
4月18日	14時00分 ~ 16時30分	A農産	20人	10人	10人	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	地域環境の保全	—	—	
5月10日	10時00分 ~ 12時00分	B農産	10人	10人	0人	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	農道	農道の適正管理	砂防の補修	
5月15日	10時00分 ~ 12時00分	A農産	10人	10人	0人	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	水路	水路の草刈り	水路の草刈り	
6月28日	13時00分 ~ 16時30分	B農産	30人	10人	20人	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	地域環境の保全	地域環境の保全	生物の生息状況の把握	
			人	人	人	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修				
			人	人	人	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修				
			人	人	人	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修				
			人	人	人	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修				
			人	人	人	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修				
			人	人	人	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修				
			人	人	人	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修				
2月15日	13時00分 ~ 16時00分	A農産	4人	4人	0人	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	基礎活動	点検・機能診断、□計画策定、□研修	—	—	—	組合の研修

1-3. チェックシートへの記入

実施状況報告書を確認した結果を、実施状況確認チェックシート(書類確認用)に記入します。

(別記3-1様式第2号)

共同活動支援 実施状況確認チェックシート(書類確認用)

確認年月日:平成〇年〇月〇日

活動組織名	〇〇環境保全会	確認者 (所属、氏名)	〇〇町 産業振興課 農林 太郎
-------	---------	----------------	-----------------

1. 活動の実施状況の確認

事項	確認項目とその内容	チェック欄
収支実績	①収入の部 (確認内容) 実施状況報告書の「収入の部」と金銭出納簿の「収入」欄の金額が一致していることを確認。	☒
	②支出の部 (確認内容) 実施状況報告書の「支出の部」と金銭出納簿の「支出」欄の金額が一致していることを確認。	☒
事業の成果	③計画 (確認内容) 活動計画に位置づけた活動項目について、計画欄に「○」または「ー」が記入されていること確認。	☒
	④実施 (確認内容) 実施欄に「○」が記入されている場合 「実施日または未実施理由」欄に記入された実施日が活動記録と一致していることを確認。	☒
	(確認内容) 実施欄に「●」が記入されている場合 「実施日または未実施理由」欄に未実施理由が記入されていることを確認。	☒
	(確認内容) 「実施日または未実施理由」欄に遊休農地解消面積が記入されているを確認。 活動計画に位置づけた遊休農地面積が、協定期間内に計画に解消されていることを確認。	☒
都道府県が 定めた要件	地域活動指針に基づき定める要件において、独自の要件が定められている場合 (確認内容) 独自の要件が達成されていることを活動記録により確認。	☐ 該当なし

(注) 「確認項目とその内容」に該当しない場合は、チェック欄に「該当なし」と記入。

2. 活動の実施状況についての所見

・協定に位置づけた農用地の全てが耕作可能な状態に保全管理されるよう、次年度以降の活動においても、計画的に遊休農地発生防止のための保全管理を実施してください。

・未実施となった項目については、次年度以降の活動においても点検・機能診断を行い、必要な取組を実施してください。

P3、P4の方法により確認された場合は、チェックを記入します。

地域活動指針に基づき、都道府県独自の要件を定めている場合には、その独自の要件を達成しているか確認します。該当しない場合は、「該当なし」と記入します。

- ・書類確認した結果の所見を記入します。点検・機能診断の結果、発見された劣化箇所等については、当該年度内にすべて対応する必要はありませんが、対策期間内にできるだけ対応できるように向上活動も含め、計画的に実施していくことが必要です。
- ・活動の実施が確認された場合は、「特になし」と記入してください。

(活動の実施についての所見への記載例)

- (例1) 未実施となった項目については、次年度以降の活動においても点検・機能診断を行い、必要な取組を実施してください。
- (例2) 協定に位置づけた農用地の全てが耕作可能な状態に保全管理されるよう、次年度以降の活動において、計画的に遊休農地発生防止のための保全管理を実施してください。

2. 現地確認について

2-1 現地確認の対象組織

「必要に応じて行う現地確認」は、活動計画に位置付けた保全管理する農用地、施設が多いにも関わらず、活動実施日が少ない場合や、計画的な遊休農地の解消が困難と思われるなどの理由により、市町村担当者が現地で確認した方が望ましいと判断した場合に実施します。

2-2 現地確認の方法

市町村は、実施状況確認チェックシート(現地確認用)(P7)に基づき、現地確認を行います。

計画欄、実施欄には、実施状況報告書の「事業の成果」に記入されている○印、●印を記入します(対象外の項目については「－」を記入します)。

(1) 活動の実施状況の確認

実施欄に○印が記入された項目について、当該年度に活動を実施した箇所について確認します。

農用地の「遊休農地発生防止のための保全管理」については、協定農用地が遊休農地とならないような活動を実施することが要件であることから、現地において協定農用地が耕作可能な状態に保全管理されていることを確認します。

実施欄に●印が記入された項目について、点検・機能診断記録及び現地の確認を行います。

(2) 活動の実施についての所見

点検・機能診断の結果、発見された劣化箇所等については、当該年度内にすべて対応する必要はありませんが、対策期間内にできるだけ対応できるように向上活動も含め、計画的に実施していくことが必要です。

●印が記入された項目について、確認の結果、活動の実施が必要と判断される場合には、「(2)活動の実施についての所見」欄へ、次年度以降の活動計画において活動の実施を求める旨を記入します。

活動の実施が確認された場合は、「特になし」と記入してください。

(活動の実施についての所見への記載例)

(例1) 農道の「付帯施設の適正管理」について、現地を確認したところ、側溝の破損箇所がありますので、協定期間内に適正な保全管理がなされるよう、次年度以降の活動において、破損箇所の補修を実施してください。

(例2) 協定に位置づけた農用地の全てが耕作可能な状態に保全管理されるよう、次年度以降の活動において、計画的に遊休農地発生防止のための保全管理を実施してください。

■ 現地確認

(別記3-1様式第3号)

共同活動支援 実施状況確認チェックシート(現地確認用)

確認年月日:平成〇年〇月〇日

活動組織名	〇〇環境保全会	確認者(所属、氏名)	〇〇町 産業振興課 農林 太郎
立会者(構成員)	代表 農林 次郎	関係機関の立会者(所属、氏名)	—

現地確認結果

(1) 活動の実施状況の確認

対象活動	計画	実施	確認内容	チェック欄
1. 農用地				
①遊休農地発生防止のための保全管理	○	○	当該年度に、遊休農地発生防止のための保全管理等を実施した箇所を確認	☒
②畦畔・農用地法面・防風林等の草刈り	○	○	当該年度に、畦畔・農用地の路面等の草刈り等を実施した箇所を確認	☒
③畦畔・農用地法面等の補修	○	○	当該年度に、畦畔の再構築等、農用地の保全管理のための必要な取組を実施した箇所を確認	☒
④施設の適正管理	○	○	当該年度に、鳥獣害防止柵等の適正管理等、施設の適正管理のために必要な取組を実施した箇所を確認	☒
⑤異常気象時の対応	○	●	当該年度に、異常気象後に応急措置を実施した箇所を確認	☐
2. 水路				
①水路の草刈り	○	○	当該年度に、水路及び付帯施設(ポンプ場、調整施設等)やその周辺部について、草刈りを実施した箇所を確認	☒
②水路の泥上げ	○	○	当該年度に、水路及びポンプ吸水槽等について泥上げを実施した箇所を確認	☒
③水路の適正管理	○	○	当該年度に、水路側壁のはらみ修正等、施設の適正管理のために必要な取組を実施した箇所を確認	☒
④付帯施設の適正管理	○	○	当該年度に、ゲート類等の保守管理の徹底等、施設の適正管理のために必要な取組を実施した箇所を確認	☒
⑤異常気象時の対応	○	●	当該年度に、異常気象後に応急措置を実施した箇所を確認	☐
3. 農道				
①路肩、法面の草刈り	○	○	当該年度に、路肩・法面の草刈りを実施した箇所を確認	☒
②側溝の泥上げ	○	○	当該年度に、点検及び機能診断結果に基づいて、側溝の泥上げを実施した箇所を確認	☒
③農道の適正管理	○	○	当該年度に、砂利の補充等、施設の適正管理のために必要な取組を実施した箇所を確認	☒
④付帯施設の適正管理	○	●	当該年度に、側溝の目地詰め等、施設の適正管理のために必要な取組を実施した箇所を確認	☒
⑤異常気象時の対応	○	●	当該年度に、異常気象後に応急措置を実施した箇所を確認	☐
4. ため池				
①ため池の草刈り	—	—	当該年度に、ため池の草刈りを実施した箇所を確認	☐
②ため池の泥上げ	—	—	当該年度に、点検及び機能診断結果に基づいて、泥上げを実施した箇所を確認	☐
③堤体の適正管理	—	—	当該年度に、遮水シートの補修等、施設の適正管理のために必要な取組を実施した箇所を確認	☐
④付帯施設の適正管理	—	—	当該年度に、かんがい期前の施設の清掃・除塵等、施設の適正管理のために必要な取組を実施した箇所を確認	☐
⑤異常気象時の対応	—	—	当該年度に、異常気象後に応急措置を実施した箇所を確認	☐
5. 農村環境保全活動				
農業用水の保全	—	—	・選択したテーマに基づき実施した取組について、実施箇所を確認	☐
農地の保全	—	—	・向上活動支援(高度な農地 水の保全活動)において設置した施設がある場合、農村環境保全活動により維持管理がなされていることを確認	☐
地域環境の保全	○	○		☒

注1:「計画」欄、「実施」欄には、実施状況報告書に記載されている「○」、「●」、「—」を転記する。

注2:現地調査を実施した項目について、該当する内容について確認した後、チェック欄に「レ」を記入する。

(2) 活動の実施についての所見

- ・協定に位置づけた農用地の全てが耕作可能な状態に保全管理されるよう、次年度以降の活動において、計画的に遊休農地発生防止のための保全管理を実施してください。
- ・農道の「付帯施設の適正管理」について、現地を確認したところ、側溝の破損箇所がありますので、協定期間内に適正な保全管理がなされるよう、次年度以降の活動において、破損箇所の補修を実施してください。

実施状況報告書の「2. 事業の成果」に記入されている○または●を記入します。対象外の施設については「—」を記入します。

現地確認を実施した項目について、チェックを記入します。

現地確認の結果、遊休農地の計画的な解消に所見がある場合は、「(2) 活動の実施についての所見」欄へ記入します。

●印を記入した項目について、活動実施の必要がある判断される場合には、「(2) 活動の実施についての所見」欄へ記入します。

